

# The Yokohama Shinkin Bank Semi-Annual Report



《よこしん》半期レポート  
令和3年4月1日～令和3年9月30日

# 令和3年9月期の業績について

《よこしん》では、地域社会の持続可能な発展に向けて、さまざまな課題の解決に向けたご支援や社会貢献活動に努めています。

## 1 預金・貸出金の状況

預金（譲渡性預金を含む）は3月末に比べて860億円、4.2%増加し2兆981億円となりました。

貸出金は3月末に比べて114億円、1.0%減少し1兆1264億円となりました。

貸出金の業種別残高は下表のとおりです。特定の業種に偏ることなく、さまざまな業種のお客さまにご利用いただいています。

### ■預金・貸出金の残高

(単位：百万円)

	令和3年3月末	令和3年9月末
預金積金	2,012,135	2,089,334
うち法人預金	564,786	623,007
うち個人預金	1,437,729	1,452,439
うち金融機関・公金預金	9,619	13,887
譲渡性預金	—	8,849
貸出金	1,137,854	1,126,430

### ■貸出金の業種別残高

(単位：百万円、%)

	令和3年3月末		令和3年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	112,667	9.9	108,317	9.6
農業、林業	851	0.0	843	0.0
漁業	14	0.0	11	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	193,652	17.0	185,966	16.5
電気・ガス・熱供給・水道業	145	0.0	132	0.0
情報通信業	7,231	0.6	7,192	0.6
運輸業、郵便業	40,386	3.5	39,682	3.5
卸売業	80,398	7.0	77,865	6.9
小売業	39,922	3.5	40,597	3.6
金融業、保険業	7,172	0.6	7,205	0.6
不動産業	268,103	23.5	266,595	23.6
物品賃貸業	8,456	0.7	7,922	0.7
学術研究、専門・技術サービス業	3,345	0.2	3,441	0.3
宿泊業	8,802	0.7	9,838	0.8
飲食業	27,994	2.4	27,140	2.4
生活関連サービス業、娯楽業	13,887	1.2	13,854	1.2
教育、学習支援業	6,388	0.5	6,775	0.6
医療・福祉	27,842	2.4	27,288	2.4
その他のサービス	78,554	6.9	87,670	7.7
小計	925,817	81.3	918,342	81.5
地方公共団体	11,063	0.9	10,361	0.9
個人（住宅・消費・納税資金等）	200,974	17.6	197,727	17.5
合計	1,137,854	100.0	1,126,430	100.0

(注) 不動産業には不動産賃貸業を含みます。

## 2 金融再生法に基づく不良債権の開示

経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくため、不良債権の適切な開示に努めています。

不良債権残高は、3月末に比べ47億円、11.2%増加し465億円となりました。不良債権に対する備えは、担保や保証、貸倒引当金により94%が保全されています。

### ■不良債権の状況

(単位：百万円)

	令和3年3月末	令和3年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,653	4,816
危険債権	33,880	39,151
要管理債権	2,265	2,538
不良債権合計	41,799	46,506
正常債権	1,101,201	1,084,755
総合計	1,143,001	1,131,261

### ■不良債権に対する備え

(単位：百万円)

	債権額 A	保全額 B	保全方法			保全率 B/A	引当率 E/(A-C-D)
			優良担保・保証 割手等 C	一般担保 D	貸倒引当金 E		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,653	5,653	2,842	1,845	965	100.00%	100.00%
危険債権	33,880	32,605	24,812	6,038	1,754	96.23%	57.91%
要管理債権	2,265	973	—	852	121	42.98%	8.60%
不良債権合計 F	41,799	39,232	27,655	8,735	2,841	93.85%	52.53%
	46,506	44,011	31,926	9,136	2,949	94.63%	54.16%
正常債権	1,101,201	不良債権比率					
	1,084,755	F/G					
総合計 G	1,143,001	3.65%					
	1,131,261	4.11%					

(注) 上段は令和3年3月末、下段は令和3年9月末の計数です。

### 3 自己資本比率

自己資本比率は、10.22%と、国内基準(4%)を上回る高い水準を維持しています。

(単位：百万円)

項目	令和3年3月末	令和3年9月末
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	95,214	96,958
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,772	1,756
うち、利益剰余金の額	93,539	95,220
うち、外部流出予定額 (△)	34	—
うち、上記以外に該当するものの額	△ 63	△ 18
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,260	1,332
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,260	1,332
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	96,474	98,290
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	687	652
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	687	652
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	687	652
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	95,787	97,638
信用リスク・アセットの額の合計額	888,800	910,989
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 1,521	△ 1,788
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,521	△ 1,788
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	43,454	43,454
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	932,254	954,444
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	10.27%	10.22%

### 4 収益の状況

経費の削減に努めて、業務純益は前年比8億円、50.9%増加の26億円、コア業務純益は6億円、31.6%増加の26億円となりました。

当期純利益は前年比4億円、31.4%増加の17億円となっています。

(注)

業務純益 = 業務収益 - (業務費用 - 金銭の信託運用見合費用)

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券5勘定戻

(単位：百万円)

	令和2年9月期	令和3年9月期
業務収益	13,002	13,033
資金運用収益	11,196	11,116
役員取引等収益	1,701	1,774
その他業務収益	104	142
業務費用	11,245	10,381
資金調達費用	245	208
(うち金銭の信託運用見合費用)	(0)	(0)
役員取引等費用	861	805
その他業務費用	51	4
一般貸倒引当金繰入額	231	72
経費	9,855	9,290
業務純益	1,757	2,653
(コア業務純益)	2,014	2,652
経常利益	1,523	2,435
当期純利益	1,355	1,782

### 5 有価証券の時価情報

債券を中心に安全性を重視した有価証券運用を行っています。市場金利が低水準で推移したことなどから、保有有価証券全体での評価益は152億円となりました。

#### ■満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和3年3月末					令和3年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	27,450	28,184	733	735	2	25,460	26,200	739	740	0

(注) 時価は期末日における市場価格等に基づいています。

#### ■その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和3年3月末					令和3年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち益	うち損
株式	11,436	7,005	4,431	4,441	10	12,059	7,238	4,821	4,878	56
債券	380,338	376,615	3,722	4,433	711	380,006	375,299	4,707	5,016	309
その他	72,189	68,041	4,148	4,301	152	83,852	78,862	4,989	5,198	208
合計	463,964	451,663	12,301	13,176	874	475,919	461,399	14,519	15,093	574

(注) 貸借対照表計上額は期末日における市場価格等に基づいています。但し、上場株式、上場投資信託及び上場優先出資証券については期末日前1カ月の市場価格の平均に基づいています

※計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※令和3年9月末の計数は、会計監査人の監査を受けていません。



## トピックス（令和3年4月から令和3年9月まで）

### ●社会福祉法人横浜市社会福祉協議会と包括連携協定を締結

6月9日に横浜市社会福祉協議会と包括連携協定を締結しました。

SDGsの視点を踏まえ、身近な地域の支え合いや地域貢献活動の活性化を通じて、地域の福祉活動を推進していきます。



### ●「ヨコハマ温暖化対策賞」を受賞

6月11日に横浜市より「第7回ヨコハマ温暖化対策賞」を受賞しました。

《よこしん》では、令和1年8月から関内本店で青森県横浜町の風力発電による再生可能エネルギー100%電力の使用を開始しました。引き続き、取組みを推進し環境負荷の低減に努めます。



### ●「横浜信用金庫脱炭素化宣言」を公表

9月17日に地域社会・お客さまの脱炭素化への取組みの推進・当金庫の脱炭素化への計画的な実行を目的に、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目標とする脱炭素化を宣言しました。

## 《よこしん》営業店トピックス

《よこしん》では、地域イベントへの参加やロビー展の開催など、地域とのコミュニケーションを大切にしています。ホームページでは、各営業店の取組みを紹介しています。

### ●生麦支店

5月よりショーウィンドウに「生麦商店街マップ」を設置しました。地元商店街・地域の活性化に向けて、商店街の店舗情報やイベント情報を掲出しています。



## SDGs（持続可能な開発目標）への取組みについて

横浜信用金庫では、地域社会の一員としてSDGsへの取組みを通じ、地域課題の解決と持続可能な社会の実現に努めます。

《よこしん》では、「地域経済の活性化」「住みやすい地域社会の創造」「環境の保全」「働きがいのある職場環境の整備」をテーマに、取組みを推進しています。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

令和3年11月制作

**横浜信用金庫**

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1

TEL. 045-651-1451（代表）

《よこしん》ホームページ <https://www.yokoshin.co.jp>